

広域市町村圏の設定受ける

一部組合の設置決まる

本市と田代町、比内町の1市2町で広域市町村圏の指定を受けるため、今年の1月に準備事務局を発足させ、基礎調査をすすめていたところ、7月13日づけで、秋田市周辺とともに県知事から「広域市町村圏」として設定を受けました。設定を受けた本市と田代、比内の1市2町ではそれぞれ臨時議会を召集（本市は7月20日）一部事務組合を設立することを決めたほか、組合の議員も選出し、60年のビジョンに向け本格的なスタートを切りました。

今回の設定は、自治省と秋田県の協議の結果によるもので、県内では、湯沢・雄勝、本荘・由利、横手・平鹿、能代・山本、大曲・仙北、鷹巣・阿仁につぐ7番目の指定になります。

広域市町村圏のねらいは、圏域の市町村は区域をこえて、道路やゴミ処理施設のほかに生活環境の改善施設、学校や病院そして教育・福祉施設などの整備を共同で実施し住民の生活水準の向上をはかるための事業を行なうものです。

地域格差の解消と住民福祉に大きな福音をもたらすこの大事業は、国の援助によって実施されることになるわけですが、今回の圏域の設定と一部組合の発足（7



月24日)によって昭和60年の大館市周辺のビジョンが明らかにされることになり、立ちおくれからの脱皮にどのようなビジョンが生れてくるか今後の策定計画に注目していただきたいと思います。

<組合議員>

<大館市>

- 佐藤民二郎
- 石田徳太郎
- 谷地垣一雄
- 石垣 忠一
- 竹内 福哉

<比内町>

- 殿村吉太郎
- 阿部八百吉
- 佐藤久雄

<田代町>

- 小笠原正二
- 藤田三司栄
- 浅利 寅二

農業委員さまる

7月5日にしめ切った農業委員の立候補者は、釈迦内、長木、下川沿、十二所花矢の5地区で定員がオーバーし、7月14日、それぞれの地区で選挙が行なわれました。選挙による当選者および無競争によって農業委員になられた方々は下記のとおりです。

農業委員の仕事

農業生産力の発展と経営の合理化、そして農民の地位の向上に役立てることを目的とし、具体的には、農地法による農地の統制事務（農地の転用許可、小作料の統制、農地の分合）を行なう重要な機関です。

委員会の構成は、選挙による委員20名、農業団体からの推せん2名、市長が選任する学識経験者が5名以内になっています。

<農業委員> 敬称省略

※印は選挙が行なわれた地区

◆印は新人

- <大館> 桜庭亥之松、伊藤忠治
- ※<釈迦内> 昌山一志、菅原米太郎 ◆高谷正治
- ※<長木> ◆石田誠二郎、石垣輝光
- ※<下川沿> 安部栄吉 ◆鎌田重雄
- <真中> 虻川誠夫 富樫広信
- <二井田> 一関孝一 芳賀繁一
- <上川沿> 金子良悦 田中正夫
- ※(十二所) 羽柴誠一 黒田一郎
- ※<花矢> 佐々木義信
- 学識経験者 笹島信男 ◆白川欣一
- 農業団体推せん 昌山耕英、佐々木文雄 伊藤悦二 農協 斎藤浩 共済 上村清広

議会の活動

(47, 6, 17~47, 7, 17)

東北新幹線秋田県ルート誘致特別委員会 <6月19日> 東北新幹線秋田・津軽ルート誘致促進について、その後の経過報告とともに現況分析を行ない、今後の行動について協議しました。

厚生常任委員会 <6月27日> 付記された請願、陳情について審査し、いずれも継続審査としたほか、「食肉センター」建設事業について当局の説明を受けました。

建設財政常任委員会 <6月28日> 「広域市町村圏」について、これまでの経過報告とともに同組合設立のための諸手続きについて、当局の説明を受けました。

<7月3日> 「広域市町村圏」の組合議会について当局の報告を受け、委員会としての要望意見を集約しました。

<7月15日> 「広域市町村圏組合議会」「超小型電子計算機の導入」「日本ビート工場跡地」「集中豪雨による被害」関係について、当局よりその経過報告を受けました。

建設水道常任委員会 <7月12日> 集中豪雨による被災状況について所管にかかわる当局の報告を受けたほか、被災地の現地調査をしました。

教育産業常任委員会 <7月15日> 集中豪雨による被災状況について所管にかかわる当局の報告を受けたほか、被災地の現地調査をしました。

議会運営委員会 <7月17日> 7月20日招集された第3回議会臨時会の運営について、協議しました。

議会各派代表者会議 <7月17日> 第3回議会臨時会に提出される人事案件について協議しました。

人事異動

係長以上 ○ 内は前職
7月1日づけ

- <課長・補佐等>
- 収入役室長 細田成信 (総務課長)
- 総務課長 渡辺正明 (管財課長)
- 花矢支所長 久米田宏文 (市民課長)
- 青少年ホーム館長 石戸谷紀三男 (相談室主査)
- 公害課長 佐々木房夫 (公害課主査)
- 市民課長 若沢吉蔵 (総務課主査)
- 管財課長 伊藤一雄 (建設課補佐)
- 監査事務局長 丸屋剛 (市病事務次長)
- 管財課主査 今一郎 (管財課補佐)
- 税務課主査 成田伝蔵 (税務課補佐)
- 企画室主査 釜谷繁 (企画室補佐)
- 建設課主査 武内欣三 (建設課補佐)
- 総務課長補佐 芳賀敏夫 (徴収課補佐)
- 厚生課長補佐 梅村長 (福祉・補佐)
- 総務課長補佐 石戸谷斌郎 (職員係長)
- 市民課長補佐 三ツ井孝一郎 (資料整備係長)
- 税務課長補佐 工藤留蔵 (税第一係長)
- 清掃課長補佐 西村正三 (総務庶務係長)
- 建設課長補佐 栗盛悦美 (建築係長)
- 徴収課長補佐 日景賢二 (徴収係長)
- 商工課長補佐 佐藤賢次 (商工係長)
- 収入役室長補佐 佐々木弘尚 (出納係長)
- 福祉所長補佐 藤原三三 (庶務係長)
- 市病事務局長 矢吹助次 (厚生課長補佐)
- 建設課長補佐 山田勲 (教委、庶務係長)
- 教委学校教育課長補佐 大川修一 (税務課補佐)
- <係長>
- 総務・職員係長 松井勇一 (文書係長)
- 徴収・庶務係長 明石幸蔵 (民生児童係長)
- 福祉・庶務係長 藤盛健吉 (厚生係長)
- 上川沿出張所長 田畑準吉 (用度係長)
- 二井田出張所長 伊藤健治郎 (所長)
- 卸売市場業務係長 柳原正雄 (選挙係長)
- 総務・文書係長 工藤友弘 (税第一係)

- 財政・財政係長 沢口美善 (財政係)
- 税務・税第一係長 越山恵造 (税第一係)
- 厚生・厚生係長 斎藤与四郎 (出納係)
- 収入・用度係長 竹村康吉 (年金係)
- 福祉・民生児童係長 西村政志 (資料整備係)

- 十二所出張所 兜森哲男 (税第二係)
- 教委庶務係長 沼田実 (二井田出張所所長)
- 下川沿出張所長 虻川公昭 (清掃課)
- 選管・選挙係長 木村定雄 (選挙係)
- 議会・調査係長 桜庭栄次郎 (調査係)
- <退職者> (6月30日づけ)
- こころうさんでした。

- 伊勢 知得 (徴収課)
- 清水 貞秀 (収入役室)
- 萩野 タカ (公民館)
- 前田嘉太郎 (監査事務局)
- 近藤 彦三 (清掃課)
- 渡辺 春松 (長木小)
- 松川 カヨ (市民課)
- 佐藤 庄吉 (矢立出張所)
- 根本 勇夫 (十二所出張所)
- 渡辺 勝正 (公民館)
- 木村 和一 (公害課)
- 芳賀 アグ (城西小)
- 伊藤 真吉 (南中)
- 昌山 竹治 (上川沿出張所)
- 布谷 定雄 (管財課)
- 野口 正三 (水道課)
- 渡部 与一 (花矢支所)
- 虻川 貞夫 (教育委員会)
- 根本 自朗 (青少年ホーム)
- 丸谷 正己 (花矢支所)

- <新規採用>
- 収入役室 昌山俊一
- 厚生課 河田訓忠
- 建設課 田畑政光
- 市病薬剤科 岩沢洋子
- 徴収課 忍 正子
- 税務課 岩沢隆一
- 福祉事務所 吉田悦子
- 市民課 佐々木由子
- 農林課 高橋善一
- 管財課 田中 実
- 市民課 高清水清春 (7月15日付)
- 城南小 昌山 晃
- 城西小 滝内鉄男
- 成章小 坂本正彰
- 一中 長崎義憲
- 成章中 佐藤吉孝
- 花園中 石戸谷忠信

真中地区に カントリー・エレベーター

～ 今月末に完成 ～

真中地区の赤石部落に行くと、西欧の城を思わせる巨大な建物が目をひいている。これは、第2次農業構造改善事業の一つとして農協が建設しているカントリー・エレベーターで、大館市内ではじめての建設とあって農家の注目をあつめている。

<カントリー、エレベーター>とは



大型サイロ（穀物や飼料の貯蔵庫）と大型乾燥機をエレベーターで連結した農業倉庫のことをいいます。欧米では早くから発達していたが、わが国では昭和39年に初めて3カ所（秋田県高梨農協、新潟県白根農協、石川県吉田農協）に建設された。米をバラもみのまま乾燥、貯蔵できる。現在建設中のカントリーエレベーターは、8基を連結したもので、その高さは22m50、もみの貯蔵量は2,000トンというじまんのできる大規模なサイロです。2,000トンといえば米どころ真中地区(500ヘクタール耕作)で生産される3分の2、俵にして約3万、300俵ものもみが貯蔵できるもので、総工費1億5,300万円を投ずるこの大型サイロは、今月の末に完成します。

大館・津軽ルートを
実現しよう